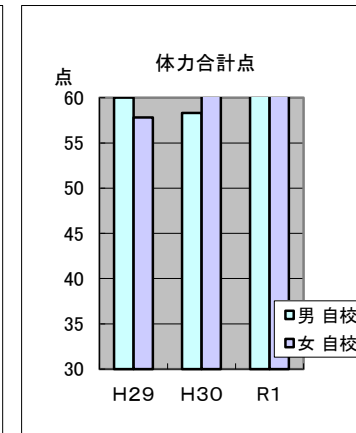
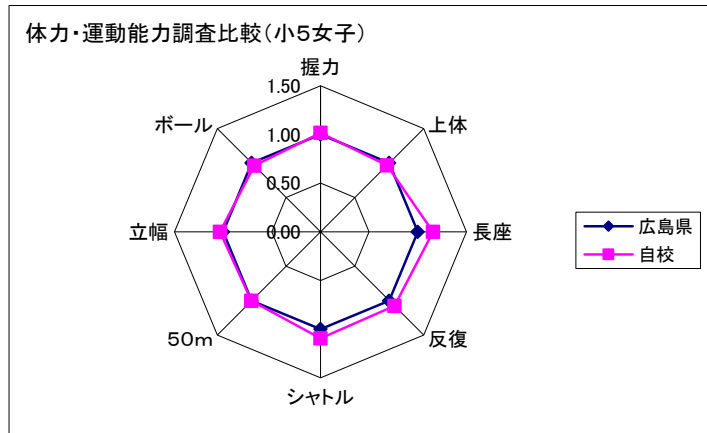
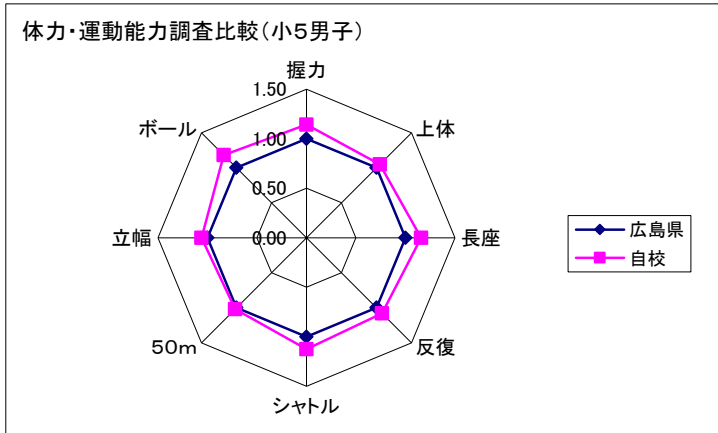


男子の体力合計点 学校61.8点 県平均 56.09点

女子の体力合計点 学校60.5点 県平均 57.92点



R1体力・運動能力調査の結果と分析

結果と分析 (全学年の状況も踏まえて記入すること)

① 50m走(呉市の課題種目)
 ・取組の成果もあり、男女ともに記録が伸びている。県平均に及ばない学年が一学年だけであった。しかし、県平均との差が少しだけの学年が三学年あるため、継続して取り組む必要がある。
 ・体育科の授業の準備運動で短い距離を走る運動を継続していく。

② 立ち幅跳び(中学校区の課題種目)
 ・一昨年度から、実施してきた取組の効果が表れ、男女ともにほぼすべての学年で県平均を上回っている。しかし、男子一学年が下回っている。
 ・腕を振りジャンプするタイミングが合うように、指導を継続していく。

③ 上体起こし(自校の課題種目)
 ・昨年度より、県平均を下回る学年が増え、男子は二学年、女子は四学年が下回る結果となった。
 ・お腹の筋力を高める運動を取り入れていないため、指導していく必要がある。

課題解決のための今後の取組及び数値目標

① 呉市の課題種目 (50m走) 具体的な数値目標 (男子0.1, 女子0.2)	具体的な取組内容 ・体育科の授業でスタートの練習を取り入れる。様々な姿勢から素早くスタートする運動を行う。 ・「呉チャレンジマッチ」でダッシュリレーに取り組む。
② 中学校区の課題種目 (立ち幅跳び) 具体的な数値目標 (男子3cm, 女子3cm)	具体的な取組内容(中学校区で1つ以上共通の取組を設定) ・準備体操にコーディネーション運動を取り入れ運動神経を向上させる。 ・ジャンプボードやなわとびカードを整備し、なわとびに積極的に取り組めるように働きかける。 ・体育朝会でも、跳ぶ運動を取り入れる。
③ 自校の課題種目 (上体起こし) 具体的な数値目標 (男子2回, 女子3回)	具体的な取組内容 ・休憩時間に一輪車を積極的に使用してもらうために、運動委員会を中心にゲームを実施する。 ・家庭学習の中に、上体起こしを入れ、毎日取り組ませる。

※具体的な数値目標(記録の伸びを数値化)